

平素は、APTECの事業にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今後もUNWTO及び観光関係各機関と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進してまいりますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

○平松元在スペイン大使がUNWTOスペシャルアドバイザーに就任しました



2023年3月1日より、前在スペイン日本国特命全権大使で、現在、株式会社日本総合研究所国際戦略研究所理事長を務める平松賢司氏がUNWTOスペシャルアドバイザーに着任することになりました。

UNWTOスペシャルアドバイザーは、UNWTO本部事務局長に対して任意でアドバイスを行う立場であり、現ポロリカシュヴィリ事務局長の着任以来(2018年-)、日本人がスペシャルアドバイザーに着任するのは初めてです。

平松氏には、持続可能な観光に関するアドバイス、具体的には持続可能で強靱な観光の発展に向けた政策的なアドバイスや持続可能で強靱な観光の発展を促進するためのビジョンの打ち出しなどを行うことが期待されています。

平松氏の任期は2024年2月28日までです。

【平松スペシャルアドバイザーのコメント】

「持続可能な観光はUNWTOが最も重視しているテーマの一つです。日本でも、様々な取り組みが行われており、日本の経験も活かしながら、事務局長に提言を行なっていきたいと思っております。地域の環境に配慮し、地域住民に寄り添う形で観光が発展していく様、少しでも貢献できればと思っております。」

平松賢司氏プロフィール

1979年外務省入省。外務省地球規模課題審議官、総合外交政策局長、駐インド特命全権大使を歴任し、2019年から2022年まで駐スペイン特命全権大使を務める。2022年12月から(株)日本総合研究所国際戦略研究所理事長。

○世界の観光動向・観光回復のシナリオ

UNWTOは、世界観光指標 (World Tourism Barometer) やダッシュボード (UNWTO TOURISM DATA DASHBOARD) 等の公表を通じ、観光動向の調査や、今後の見通しとして2022年の回復シナリオなどについて発信しています。

◆2023年1月の主要事項 (世界観光指標1月号より)

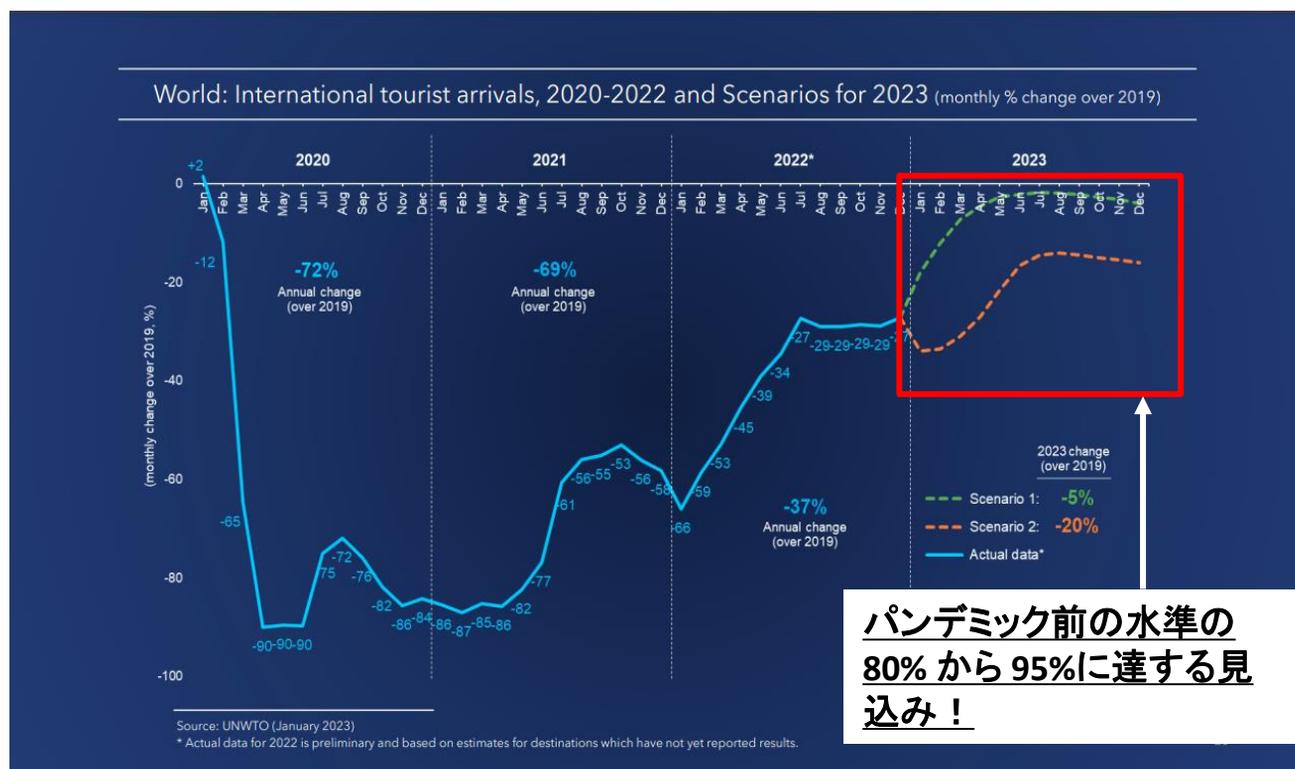
(出所: UNWTO World Tourism Barometer Volume 21, Issue 1, January 2023)

- 2022年に予想を上回る力強い回復を遂げた国際観光客到着数は、今年には、ヨーロッパと中東においてパンデミック前の水準に戻る見込みである。
- 2022年の国際観光客到着数は9億人を超えた。これは2021年に記録された数の2倍であるが、依然としてパンデミック前の水準の63%である。
- 中東は、到着者がパンデミック前の水準の83%に達し、相対的に最も堅調な増加を示した。ヨーロッパは、2022年に5億8,500万人が到着し、パンデミック前の80%近くに達した。アフリカと米州は、いずれもパンデミック前の約65%の回復となったが、アジア・太平洋は23%にとどまった。
- UNWTOは、観光セクターが経済、公衆衛生、地政学的課題に直面しているにも関わらず2023年を通して回復が続くことを見込んでいる。2019年の世界最大のアウトバウンド市場である中国において、COVID-19関連の渡航制限が最近解除されたことは、アジア・太平洋及び世界の観光セクターの回復に向けた重要な一歩である。

◆2023年の見通し (世界観光指標1月号より)

(出所: UNWTO World Tourism Barometer Volume 21, Issue 1, January 2023)

今年の国際観光客到着数は、景気減速の程度、アジア・太平洋地域での旅行の回復の持続、ウクライナへのロシアの攻撃の展開などに依拠するが、パンデミック前の水準の80%から95%に達する可能性がある。



当事務所にフルレポートもございますので、詳細の情報をご希望の方はご連絡下さい。

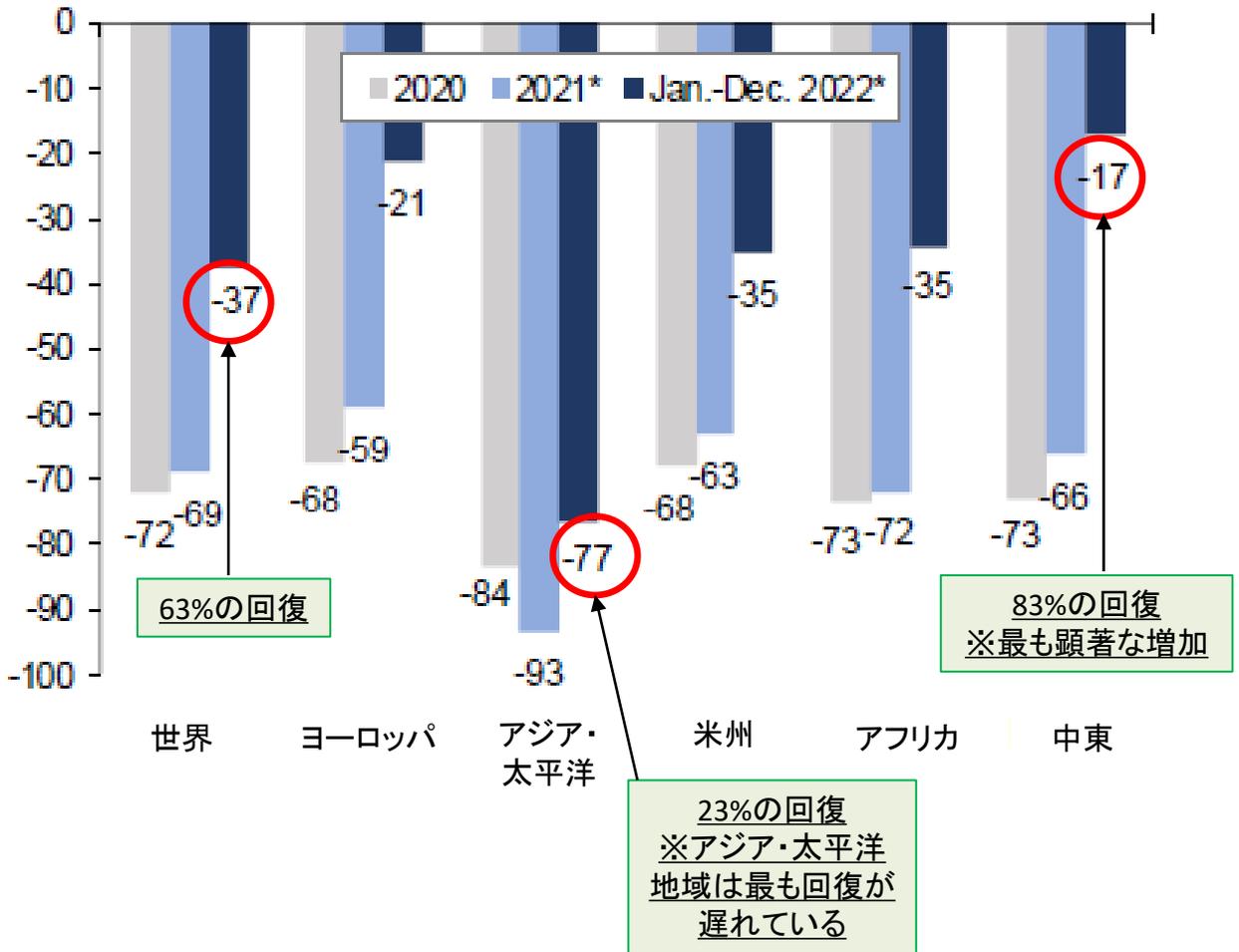
【お問い合わせ先】

メールアドレス: info@unwto-ap.org 電話: 0742-30-3881 (代表)

国際観光客到着数

到着数(2019年比増減率)

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 21, Issue 1, January 2023)



新型コロナウイルス感染症関連の渡航制限がない国の数

EASY TRAVEL POWERED BY

COVID-19 Restriction-free countries

This page shows the countries with no COVID-19 related restrictions. Click on a date to see the countries that are free of restrictions at that point.

Select a view: Map Table Select a date: 2023/03/20

124カ国に制限なく渡航可 (2023年3月20日時点)

124

Countries with no COVID-19 related restrictions

Africa	22
Americas	32
Asia and t...	20
Europe	42
Middle East	8

(出所：https://www.unwto.org/tourism-data/unwto-iata-destination-tracker-easy-travel)

○第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムが開催されました



奈良県で第7回UNWTOガストロノミーツーリズムフォーラムが開催され、持続可能性を高めるガストロノミーツーリズムについて、先進事例の共有や活発な議論が行われました。

実施日：2022年12月12日～15日

場所：奈良県コンベンションセンター他

テーマ：Gastronomy Tourism for People and Planet: Innovate, Empower and Preserve
(人と地球のためのガストロノミーツーリズム:革新し、活躍を推進して、維持する)

参加人数：約30カ国、450人以上(国内約300人、海外約150人)

※オンライン参加:約125カ国、1,000人以上

主催：UNWTO(国連世界観光機関)、BCC(バスクカリナリーセンター)

地元主催者：奈良県

後援：観光庁

主な内容：

セッション I

女性と若者:才能にスポットライトを当てる

セッション II

私たちの地球、私たちの未来:持続可能な食品

セッション III

SDGs達成に向けた規模の拡大:UNWTO

ガストロノミーツーリズム・ピッチチャレンジ

フィールドワーク



本フォーラムの詳細は、下記HPからご覧いただけます。

UNWTO駐日事務所によるレポート:<https://unwto-ap.org/event/wfgt2022/>

UNWTO本部による動画(英語のみ):<https://www.unwto.org/7-unwto-world-forum-on-gastronomy-tourism>

○世界観光倫理憲章 署名式を開催しました



2022年12月14日(水)、第7回ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラムにおいて、新たに9社が署名を行いました。

- ・株式会社 庵ホテル
- ・公益社団法人 国際観光施設協会
- ・JW マリオット・ホテル奈良
- ・株式会社 マップトラベル
- ・株式会社 松井旅館本館
- ・株式会社 奈良ホテル
- ・株式会社 旅館古窯
- ・株式会社 玉の湯
- ・株式会社 綿善

世界観光倫理憲章 概要

- 持続可能な観光の発展のためのロードマップとして、2001年の国連総会において承認されたもの。
- 観光業の責任ある持続可能な発展のための重要な規範であり、観光の経済的、社会的、文化的及び環境的要素からなる全10条で構成される。
- 観光が及ぼす負の影響を最小限に抑え、観光による利益を最大化することを意図している。

署名団体

- 世界では580団体が署名済(2021年8月23日現在)
- 日本からは**6団体23社**(2022年12月現在)

○世界観光倫理憲章に署名しませんか。ご興味のある団体様はご連絡ください。

2023年は、ツーリズムEXPOジャパン(大阪)期間中(10月26日～10月29日)において開催予定(調整中)

署名者の要件

- 署名は無料であり、すべての民間観光事業者と関連業界団体が対象となる。
(例: 航空会社、クルーズ会社、鉄道会社、ツアーオペレーター、旅行代理店、コンベンションセンター、オンライン予約関連事業者)UNWTO本部に確認が必要。

メリット

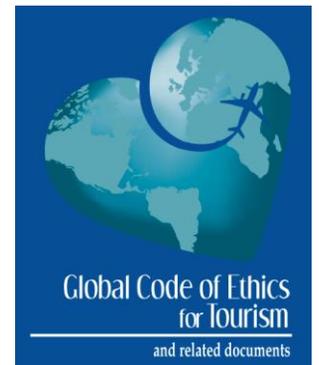
- UNWTO事務局長と観光庁幹部の立会により公開署名式を実施
- 署名団体は、UNWTOウェブサイトにも社名及びロゴを掲載
- 世界観光倫理憲章に署名していることを示すロゴを使用可能

提出すべき書類

- UNWTO本部への書類提出
- ・ 貴社の社会貢献活動の概要についてまとめた報告書(英文版、A4・2頁程度)
(既存のウェブページ等で代替可)
- ・ 署名予定者等の氏名
- ・ 企業ロゴ等

関連リンク先については QR コードからアクセスいただけます。

- UNWTO 世界観光倫理憲章(日本語版)
- 民間部門における世界観光倫理憲章への誓約 署名文(和訳)
- 倫理社会的責任部(UNWTO 本部)



QR コード



○第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムでサイドイベントを開催しました



APTECは、UNWTO駐日事務所、観光庁とともに、世界フォーラム初日である12日にサイドイベントを開催しました。

実施日：2022年12月12日 13:00～17:00

場所：奈良県コンベンションセンター 天平ホール

テーマ：The case of Japan: Gastronomy Tourism × Sustainable Tourism × Culture

参加人数：約200人（国内約140人、海外約60人）

主催：観光庁、国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所、APTEC

主な内容：

基調講演

UNWTOによるガストロノミーや持続可能な観光に関する講演

発表①

ベスト・ツーリズム・ビレッジの取組発表

発表②

ガストロノミーツーリズムに関する取組等の発表

発表③

ユネスコ食文化創造都市ネットワークに加盟した臼杵市を舞台にした映画放映と大林監督・臼杵市・モデレーターによる対談



○「持続可能な観光アーカイブ」を作成・公表しました

UNWTO駐日事務所/APTECがこれまでの取組により蓄積してきた、地域における持続可能な観光の実践事例を整理・分析したアーカイブを作成・公表しました。

「持続可能な観光アーカイブ」は全国の自治体、DMO等の皆様の取組事例をアーカイブ化し、公開することにより知見の共有を目指すシステムです。事例提供いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

賛助会員の皆様には、各事例の詳細情報をご覧いただけます。閲覧ご希望の場合は弊所でログイン情報を発行いたしますので、弊所までご連絡くださいませ。また、新たな事例のご提供や入力いただいた事例の更新につきましても、ご協力のほどお願い申し上げます。

UNWTO駐日事務所のホームページにリンクバナーを掲載

全国の自治体、DMO、観光関連団体、教育機関、民間事業者等へ事例提供依頼

事例提供は2023年3月末現在で**36件**

持続可能な観光アーカイブのウェブページはこちら ➡ <https://aptec.or.jp/system/>

国内	自治体	: 10団体	海外	自治体	: 4団体
	DMO	: 8団体		DMO	: 2団体
	観光関連団体	: 5団体			
	民間事業者	: 5団体			
	その他	: 2団体			

○観光庁「持続可能な観光地経営モデル形成事業」モデル地域における研修を実施しました

観光庁の「持続可能な観光地経営モデル形成事業」モデル地域において、「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」を実践する全3回の研修を実施しました。

研修対象: (一社)遠野市観光協会、(一社)墨田区観光協会、室戸市、佐世保市

- 第1回(全体共通、オンライン)
持続可能な地域経営の意義、「手引き」やワーキンググループの取組事例等を説明
- 第2回
各地域と意見交換のうえ、実情を踏まえてワーキンググループ等を実施
- 第3回(全体共通、オンライン)
本研修の取組内容や結果等を発表、共有
本手引きを弊所ウェブサイトからご覧いただけます。
<https://unwto-ap.org/research/research/>



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

○ベトナム版「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」を作成し、現地セミナーを開催しました

一般財団法人 運輸総合研究所と共同で作成した「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」をベースに、ハノイ大学の教授、およびベトナム観光総局の研究員の助言を得た上で、ベトナムでの現地展開のためのツールを作成しました。(2022年12月完成)



上記のベトナム語版手引きを活用し、ベトナムにおいてセミナーを開催しました。

【開催概要】

開催日時: 2023年2月23日 8:30~13:00

開催地: ベトナム国ビントゥアン省ファンティエット市ムイネー
The Cliff Resort Hotel

主催: UNWTO駐日事務所/APTEC

協力: ベトナム観光総局(VNAT)、ビントゥアン省

参加人数: 43名

対象: (地方)政府関係者、観光関連事業者

目的: ■持続可能な観光地域経営の意識醸成

■UNWTOの取組と日本の先進事例の共有

■ベトナム国内のケーススタディの紹介



ムイネー

ベトナム国内および日本のケーススタディを共有し、他地域での取組を理解してもらうことができました。グループディスカッションを通じて各地域の課題や今後の取組項目を吸い上げ、観光を活用した地域づくりに向けての機運醸成を図ることに貢献しました。



○UNWTO出版物のご案内

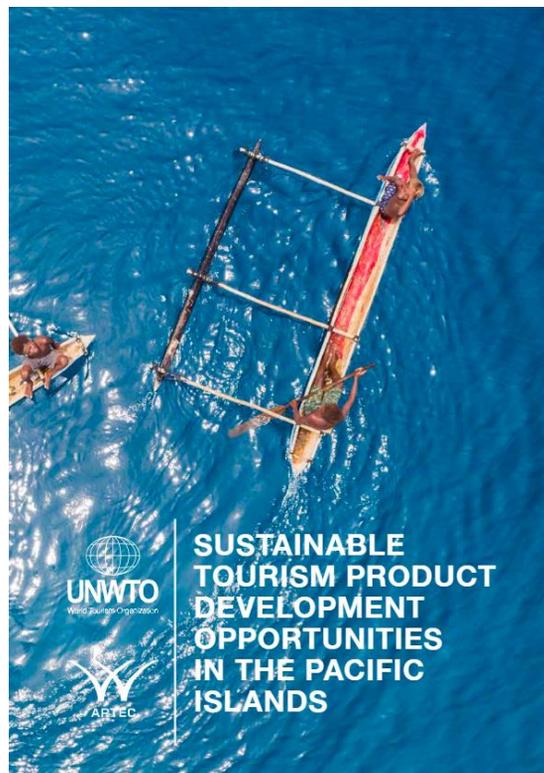
この度、APTEC賛助会員の皆様からのご支援のお陰で2つの出版物を完成することができましたのでお知らせいたします。

太平洋島嶼国における持続可能な観光商品開発 (UNWTO本部・APTEC共同調査研究)

太平洋島嶼国はそれぞれ独特の自然環境や伝統文化といった観光資源を有していますが、多くの観光客にとって、島嶼国の観光に関するイメージは均一的であるため、いかに持続可能な形で、他国と差別化した質の高い観光商品・サービスを提供できるかが課題となっています。本調査においては、太平洋島嶼国において、経済発展と文化・自然遺産の保護や地元社会への利益還元など、バランスの取れた持続可能な観光振興に向け、各国における観光振興・観光商品開発にかかる現状を整理・分析するとともに、今後の観光開発の方向性について提言しています。

リンク先(英語)

<https://www.e-unwto.org/doi/epdf/10.18111/9789284419852>



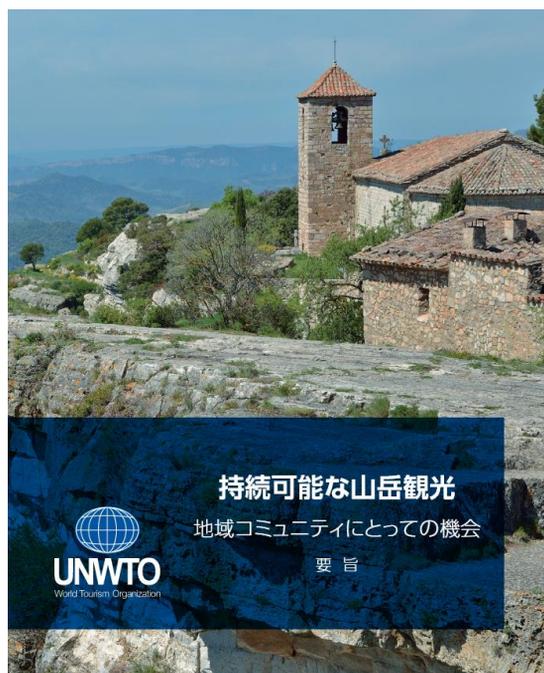
「持続可能な山岳観光 地域コミュニティにとっての機会-要旨-」 (UNWTO出版物和訳)

本レポートは、山岳観光が地域コミュニティの社会経済的成長と発展を牽引するという可能性を認識するため、山岳観光の体系的な定義を含め、UNWTOの山岳観光関連事業において提供された情報の概要を紹介するものです。また、世界の様々な地域の山岳観光開発の概要と、新たな市場パターンの結果として、山岳観光に影響を与えている最近の構造的な変化について概要を説明しています。

リンク先(日本語)

<https://www.e-unwto.org/doi/epdf/10.18111/9789284423224>

※全体のレポートをご入用の際にはご連絡ください。



○UNWTO出版物(日本語版)はこちらをご参照ください。

<https://unwto-ap.org/document/unwtotopublicationsjp/>

○APTEC会員様限定ウェビナー

APTECでは、四半期に一度、賛助会員様限定のウェビナーを開催しています。

【第4回ウェビナー】(8/30開催)

第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラムの概要について、奈良県観光局MICE推進室長から説明いただきました。また、楽天グループ株式会社様からガストロノミーツーリズムに関する事例を紹介いただきました。併せて本ウェビナーでは、会員様同士のオンラインによるネットワーク形成の機会を設けました。



8/30開催

第4回APTEC会員様限定ウェビナーのご案内

お待たせしました！今回のテーマは

「第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラム」

奈良コンベンションセンターにて開催の本イベント【2022年12月12日（月）～15日（木）】についてご説明します。Q&Aのコーナーも設けますので、ご質問がございましたらお答えさせていただきます。

登壇：奈良県観光局MICE推進室 室長 小林 悟
平成9年入庁。財政課課長補佐、政策推進課課長補佐、市町村振興課主幹（香芝市副市長）等を経て、令和4年4月よりMICE推進室長に就任。

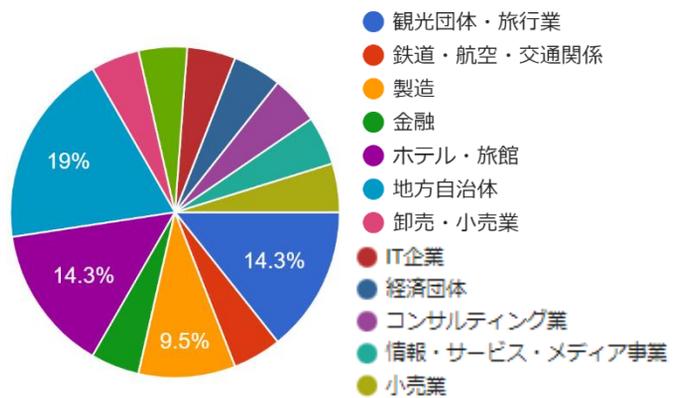
●2022年8月30日（火）
●13:30～15:00
●オンライン（Zoom）
●参加無料（事前予約制）
●限定30名（先着順）

レクチャーの他、APTEC会員様同士の交流を目的に新規会員様の自己紹介や意見交換会も予定！

13:00	0'30"	Zoomイープ
13:30	0'10"	開始案内、趣意説明
13:35	0'05"	登壇挨拶
13:40	0'10"	奈良県MICE自己紹介
13:50	0'30"	レクチャー
14:20	0'20"	Q & A
14:40	0'15"	参加者事例紹介・無料体験
14:55	0'05"	アンケート、閉会

★申込締切日 2022年8月23日（火）★
＜お申込み方法＞
下記URLよりお申込みください。
<https://apteco.or.jp/ap-topics/ap04>
お問い合わせ：メール info@univito-ap.org
電話 0742-30-3881（奈良/和泉）
主催：（一財）アジア太平洋観光交流センター

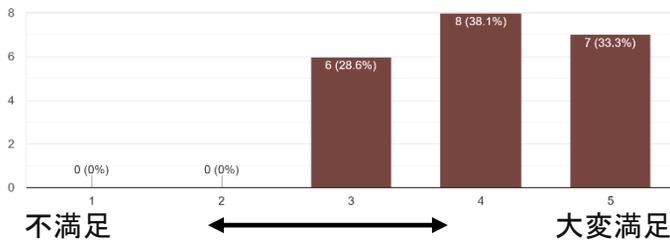
＜参加者業種＞※アンケート回答：21名



＜参加者意見＞

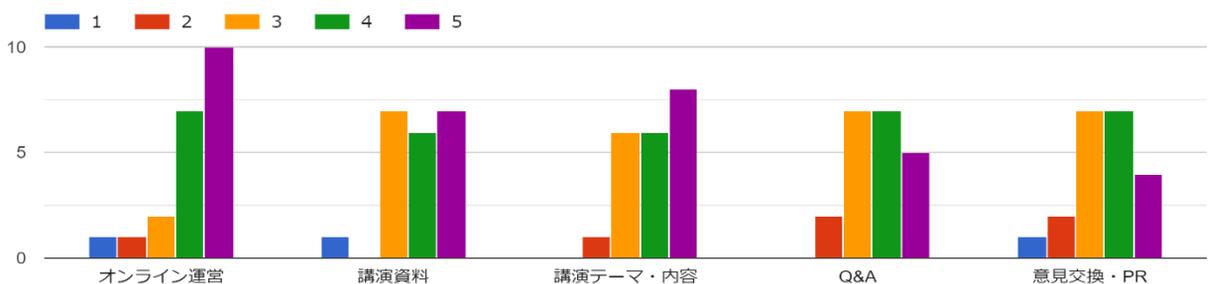
- いつも有意義なセミナーを企画いただきありがとうございます。
- ウェビナーそのものはとてもよく構成されており、いろいろな意味で勉強になりました。
- もう少しガストロノミーツーリズムに関する様々な事例を知りたかった。
- 奈良県様のガストロノミーツーリズムに関する取り組みが分かりました。

＜ウェビナー満足度＞



＜項目別満足度＞

不満足 ← 大変満足



皆様からいただいたご意見を反映し、より良いウェビナー運営を目指してまいります。

【第5回ウェビナー(10/27開催)】

「熱海の奇跡」の著者である市来広一郎様に、衰退していた熱海の町の再生手法について紹介いただきました。エリアマネジメントの手法を活用し、住民の方々を巻き込みながらどのように活気のあるまちを取り戻されたのか、それ以前との写真比較やデータを用いながら説明いただきました。

また、奈良県様と株式会社JTB様より地域活性化の取組を紹介いただきました。



10/27開催

第5回APTEC会員様 限定ウェビナーのご案内

**「熱海の奇跡」の著者、
市来 広一郎氏は何を語るのか？**

**NPO法人atamista代表理事、
(株)machimori代表取締役である
市来 広一郎氏にご登壇いただきます。**

登壇：市来 広一郎
1979年静岡県熱海生まれ、熱海育ち。東京都立大学大学院 理学研究科(物理学)修了。ビジネスコンサルティング会社に勤務した後、2007年に熱海にUターンし、ゼロから地域づくりに取り組み始める。道休農地の再生のための活動、「チーム里庭」、地域資源を活用した体験交流ツアーを始めた。「熱海温泉玉手箱(オンたま)」を熱海市観光協会、熱海市などと協働で開始、プロデュース。様々な形で熱海のリノベーションまちづくりに取り組んでいる。

一般社団法人サンパシオンパワ 理事/一般社団法人日本まちやど協会 理事/一般社団法人熱海市観光協会 理事著書「熱海の奇跡〜いかにして活気を取り戻したのか〜」(東洋経済新報社)。

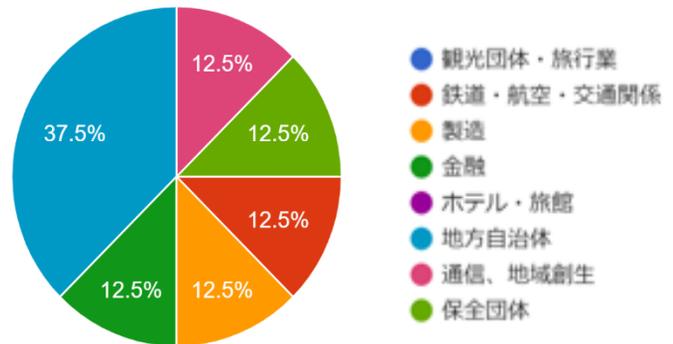
「衰退した観光地」
命を賭して再生させた
熱海はなぜ
再生できたのか
木下 大前 研一 氏
(著)

●2022年10月27日(木) ●13:30~15:00
●オンライン(Zoom) ●参加無料(事前予約制) ●限定30名(先着順)

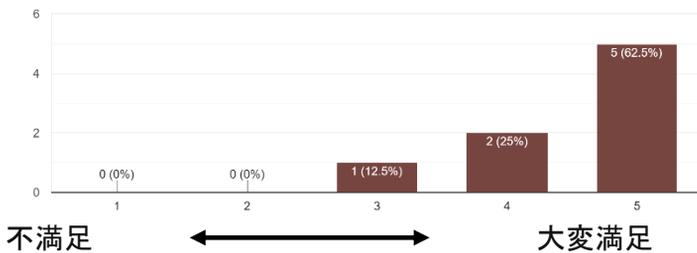
★申込締切日 2022年10月20日(木)★
<お申込み方法>
下記URLよりお申込み願います。
<https://aptec.or.jp/ap-topics/ap05>
お問合せ：メール info@unwto-ap.org
電話 0742-30-3881 (東京/和泉)
主催：(一財)アジア太平洋観光交流センター

13:00	0'30"	Zoomオープン
13:30	0'05"	開会挨拶、趣意説明
13:35	0'05"	開演挨拶
13:40	0'15"	新参加員様自己紹介
13:55	0'20"	レクチャー
14:25	0'20"	Q & A
14:45	0'10"	参加者事例紹介・意見交換
14:55	0'05"	アンケート実施、締切

<参加者業種> ※アンケート回答:8名

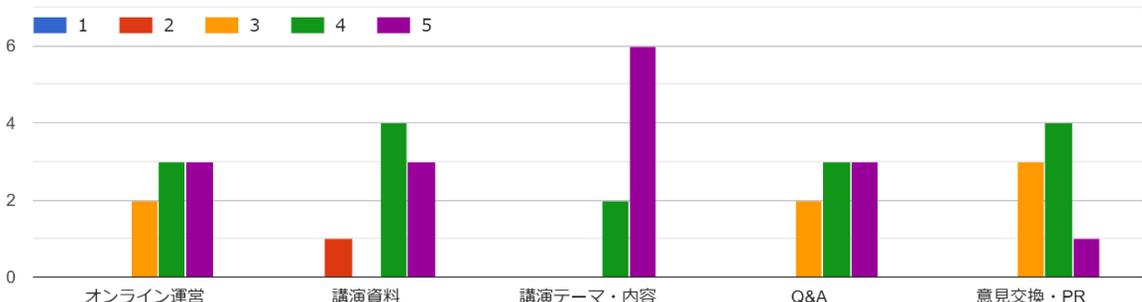


<ウェビナー満足度>



<項目別満足度>

不満足 ← 大変満足



<参加者意見>

- 観光地を再活性化させるための、これまでにない新しいアイデアや組み、その進め方などとても参考になりました。
- 当自治体では、発信力の弱さからPRを強めようとしているが、住民や観光客の満足度への配慮の重要性を学びました。
- 地域再生において全方位ではなく分野を特定しての一点突破が必要と考えていたが、地域の中でさらにエリアを絞り込み機能を集中させる取組も必要なことであると学ばせて頂きました。

皆様からいただいたご意見を反映し、より良いウェビナー運営を目指して参ります。

○APTEC 賛助会員様感謝の会

これまで、四半期に一度、賛助会員様限定のウェビナーを開催してまいりましたが、賛助会員様への感謝の意を込め、APTEC賛助会員様感謝の会を実施しました！（3/6）

日時： 2023年3月6日 12:30～14:40

場所： シティプラザ大阪 4階 海(かい)

参加者： 38名(理事、監事及びAPTECサステイナブルツーリズム推進センター委員7名を含む)

1. 開会挨拶: 本保理事長
2. 理事、監事、サステイナブルツーリズム推進センター委員のご紹介
3. 第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムに向けたAPTECの連携
4. 関係者コメント: 奈良豊澤酒造 豊澤社長
5. 日本清酒のお話: 正暦寺大原弘信ご住職
6. APTEC賛助会員プレゼンテーション: (一社)南丹市美山観光まちづくり協会、(一社)ツーリストシップ、(一社)明和観光商社
7. 閉会挨拶: 大宅事務局長

3. 第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムに向けたAPTECの連携について
奈良には日本酒にまつわる歴史や文化が根づいております。第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラムに合わせて、APTECは“Sake project”として奈良豊澤酒造、Japan National Orchestra等と連携し、クラシック音楽を流しながら仕込んだ日本酒「奈音」を造りました。

Sake project 紹介動画 <https://youtu.be/tIEeZkWhOho>



理事、監事、サステイナブルツーリズム推進センター委員のご紹介の様子



ご歓談の様子



正暦寺大原弘信ご住職による日本清酒のお話の様子



奈良豊澤酒造 豊澤社長のお話の様子

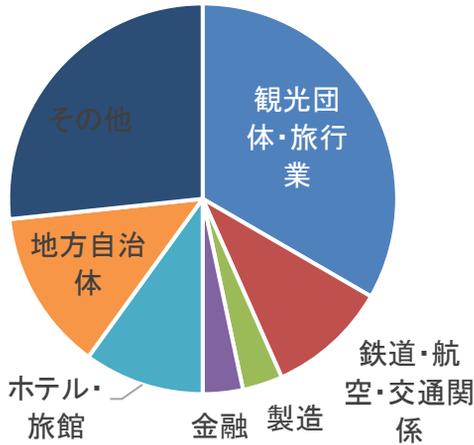


「奈音」

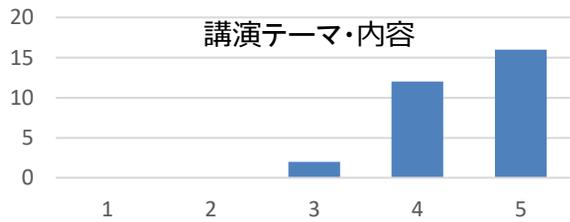
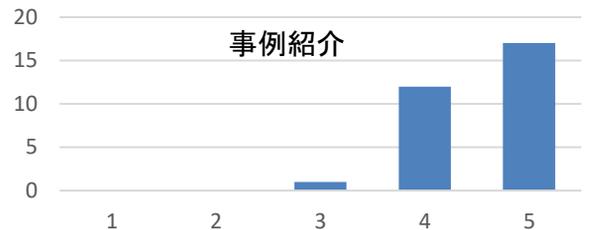
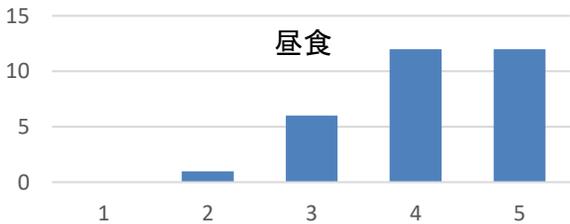
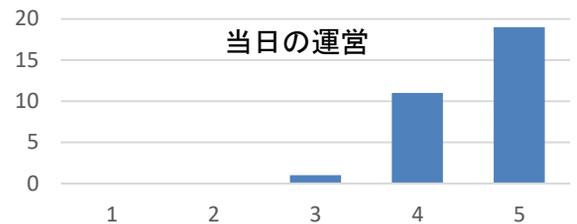
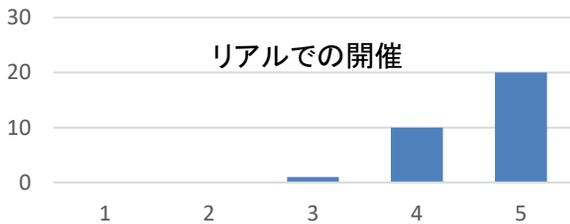
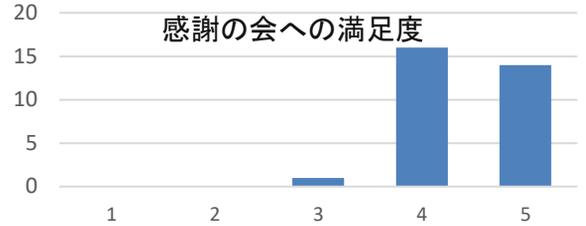
○APTEC 賛助会員様感謝の会

ご参加の皆様からいただいたアンケート結果を掲載いたします。

＜参加者業種＞※アンケート回答:31名



不満足 ← → 大変満足



＜参加者意見＞

- 持続可能な観光に取り組んでいる仲間の存在を認識することができた。
- 清酒とクラシック音楽とのコラボ、大変興味深いテーマで学ぶことが多い内容でした。
- メンバー構成やガストロノミーへの取り組みについて理解できた。
- 賛助会員事例発表は参考になりました。
- 本日の事例はいずれも今後の新たな方向性が見えるような事例でとても良かったです。
- 対面でのネットワークづくりの重要性を改めて認識しました。

<APTEC/UNWTO駐日事務所開催のイベント報告>

「ツーリズムEXPOジャパン2022」にてUNWTO賛助加盟員コーナーを開催しました

日 程: 2022年9月23日
場 所: 東京ビックサイト
参加人数: 39人



UNWTOによるUNWTO賛助加盟員コーナーを開催しました。このコーナーでは「観光商品開発における持続可能性とデジタル化」というテーマのもと、賛助加盟員である団体から、それぞれのプロジェクトや取組を紹介いただきました。また、参加者の皆様には他の参加者とのネットワーキング形成にもご活用いただきました。

グリーンな観光・国際観光シンポジウムを開催しました

日 程: 2023年2月10日
場 所: ザ・グランドホール(東京・品川) / オンライン
主 催: 観光庁、UNWTO駐日事務所

国内の自治体・DMO・観光関連事業者等の皆様に、グリーンな観光に対する理解を深め、今後の取組の促進につなげていただくことを目的に、既に事業に取り組んでいる地域や専門家の皆様にパネリストとしてお招きし、国内外の先進事例について紹介いただきました。



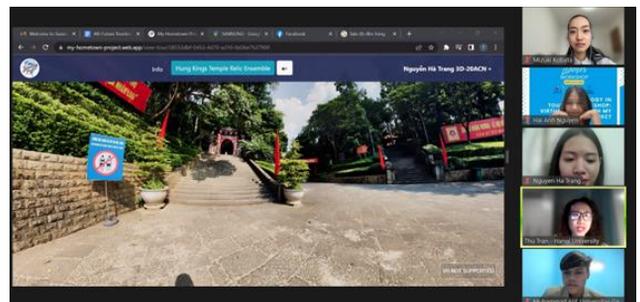
※3月中下旬頃アーカイブ公開予定
<https://www.green-symposium.info/>

第4回次世代観光リーダー育成に向けたワークショップを開催しました

日 程: 2023年3月8日、9日
場 所: オンライン
主 催: UNWTO駐日事務所、京都外国語大学、
(独)国際協力機構(JICA)

参加人数:
シンポジウム: 一般公開(視聴数: 158人) バーチャルツアープレゼンテーション(視聴数: 51人)
ワークショップ: 大学生・大学院生、若手実務家等 (23人) 7カ国・1地域

初日のシンポジウムでは、UNWTO駐日事務所、京都外国語大学、JICAの他、アジアの5つの大学より、今後の持続可能な観光の在り方や観光の新たな可能性などについて、SDGsの視点も交えて発表を行いました。ワークショップは京都外国語大学エリック・ハーキンソン教授指導の下、参加者は自らが選定した地域のバーチャルツアーを作成し、ワークショップ参加者間でのプレゼンを経て、一部は「バーチャルツアー・プレゼンテーション」で発信を行いました。



※詳細記事はUNWTO駐日事務所のwebサイトをご覧ください。
【URL: <https://unwto-ap.org/topics/>】

<APTEC/UNWTO駐日事務所の活動>

<2022年8月23日> 奈良県立畝傍高等学校「課題研究α」にて講演を行いました



<2022年10月3日> 奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校にて講演を行いました



<2022年10月3日> 徳島県にし阿波地域の観光関係事業者等を対象に講演を行いました



<2022年10月22日> 京都光華女子大学で講義を行いました



<2022年11月1日>愛媛県久万高原町及び高知県津野町の観光関係事業者等を対象に講演を行いました



<2022年11月11日>一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催の「ナイトコンテンツMICEin沖縄」シンポジウムに登壇しました



UN World Tourism Organization : 国連世界観光機関

- ・ 設立：1975年
- ・ 本部：スペイン、マドリッド
- ・ 加盟国等：160か国、2地域
- ・ 民間企業、研究機関等による500の賛助加盟員
- ・ 地域事務所：
アジア太平洋地域 奈良（日本）
中東地域 リヤド（サウジアラビア）



観光分野における国連の専門機関として、責任ある、持続可能で、全ての人がアクセス可能な観光を促進
 -観光政策における課題及び実用的な観光知識の議論の場の提供
 -世界の観光統計の収集、分析、予測

<2022年11月11日>国連ハビタット×FDC連携サロンの講演を行いました



<2022年11月16日>名城大学で講演を行いました



<2022年11月17日>No Maps釧路・根室実行委員会主催の「No Maps釧路・根室2022」シンポジウムに登壇しました



- 2008年 国土交通省入省
航空局、総務省自治財政局、観光庁など
- 2022年 国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所 副代表

UNWTO駐日事務所（奈良市）は、1995年に日本政府により誘致。アジア太平洋地域における持続可能な観光の普及及び発展を促進するため、①技術協力、②調査・情報発信、③パートナーシップの構築を実施



国連世界観光機関（UNWTO）

- ・ 設立：1975年
- ・ 本部：スペイン、マドリッド
- ・ 加盟国等：160か国、2地域、約500の賛助加盟員

観光分野における国連の専門機関として、責任ある、持続可能で、全ての人がアクセス可能な観光を促進



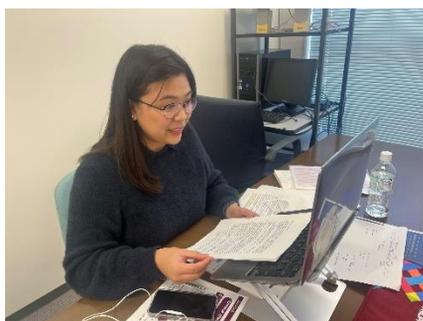
<2022年12月22日>大東文化大学語学教育研究所で講演を行いました



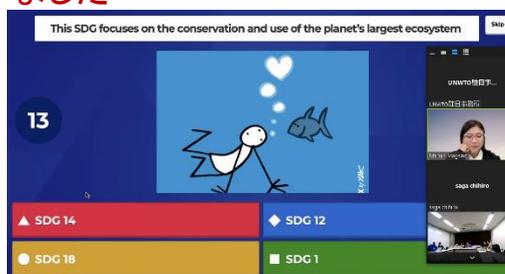
<2022年12月23日>大阪成蹊大学で講義を行いました



<2023年1月17日>和歌山大学国際観光学研究センター主催シンポジウム「The Future of Tourism Education and Destination Management」でパネリストとして登壇しました



<2023年2月1日>JICA課題別研修「持続可能な観光地域づくりのための人材育成」で講演を行いました



<2023年3月2日>APIRシンポジウムで講演を行いました

UNWTO 持続可能な観光における指標

(Indicators of Sustainable Development for Tourism Destinations)

- 2019年、63名の専門家が参画して2004年に開発
- 13のテーマ別の具体的な指標、18の地域特性に応じた指標を提案

13のテーマ別の具体的な指標				18の地域特性に応じた指標			
観光による経済発展	観光による環境持続可能性	観光による社会持続可能性	観光による文化持続可能性	自然資源	ヒューマン	文化・歴史	観光資源
観光による経済発展	観光による環境持続可能性	観光による社会持続可能性	観光による文化持続可能性	自然資源	ヒューマン	文化・歴史	観光資源

コロナ後の旅行トレンド (Booking.com)

-32か国と地域の3万人以上の旅行者を対象に調査 (2022年6月公表) -

- 「サステナブルな旅は自分にとって重要である」
 - 日本の旅行者: 73%
 - 世界の旅行者: 81%
- 「今後1年間において、よりサステナブルな旅を心がけたい」
 - 世界の旅行者の71%、日本の旅行者の46%
- 「今後1年間において1回以上はサステナブルな宿泊施設に滞在したい」
 - 世界の旅行者の78%

出所: Booking.com, 2022年のサステナブルトラベルに関する調査結果発表: <https://news.booking.com/ja/sustainable-travel-report-2022/>

※開催報告及び当日の資料は右記からご覧いただけます ➡ <https://www.apir.or.jp/press/>

○講師派遣依頼についてのご案内

UNWTO駐日事務所では、自治体や大学・高校学校等の教育機関、DMO、観光関連事業者へ、出前授業や講演に講師となる職員を派遣しています。

職員の派遣をご希望される場合は、以下の条件をご承諾の上、所定のお申込書に必要事項をご記入の上、UNWTO駐日事務所までお申込みください。

【申込書・詳細等についてはUNWTO駐日事務所webサイトをご参照下さい。(URL <https://unwto-ap.org/tutor/>)】
※現在たくさんの御依頼をいただいております、基本的にUNWTO賛助加盟員、APTEC賛助会員・関係団体のご希望を優先させていただきます。

※職員のスケジュール等の都合により、お引き受けできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

対象：高校生以上
人数：30名程度～
講師：UNWTO駐日事務所 職員
言語：日本語又は英語
費用：交通費 実費

※宿泊を伴う場合は、宿泊費をご負担いただきます。

※講演内容につきましてはご相談に応じます。

【申込書提出及びお問い合わせ先】

メールアドレス: lec@unwto-ap.org

件名に「講演依頼」とご記入ください。

電話: 0742-30-3881(代表)

メール確認後、当事務所担当からご連絡をさせていただきます。メール送付後、1週間経過しましても当事務所からの返信がない場合は、お手数ですが、お問い合わせをお願いいたします。

【過去の実績: 2022年度(例)】

「観光とSDGs - 観光とまちの「調和」と連携を考えるセミナー」における講演

<https://aptec.or.jp/topics/ouik/>

大阪成蹊大学における講義

<https://unwto-ap.org/topics/osakaseikeiuni/>

小豆島での地域住民及び地域事業者を対象とした講演

<https://unwto-ap.org/topics/shodoshima0720/>

奈良県立畝傍高等学校「課題研究α」における講演

<https://unwto-ap.org/topics/unebihs2022/>

国連ハビタット×FDC連携サロンにおける講演

https://unwto-ap.org/topics/habitat_fdc/

和歌山大学国際観光学研究センターシンポジウムにおける登壇

<https://unwto-ap.org/topics/wakayamauni/>

【講演可能テーマ】

持続可能な観光に向けたUNWTOの取組と地域振興策について

《基本題目》

- UNWTO(本部)及びUNWTO駐日事務所の概要・活動紹介
- 持続可能な開発目標(SDGs)に関するUNWTOの取組
- 国際観光動向
- 持続可能な観光地域経営
- 観光と地域振興
- 国際観光の動向と新型コロナウイルス感染症に対するUNWTOの取組

